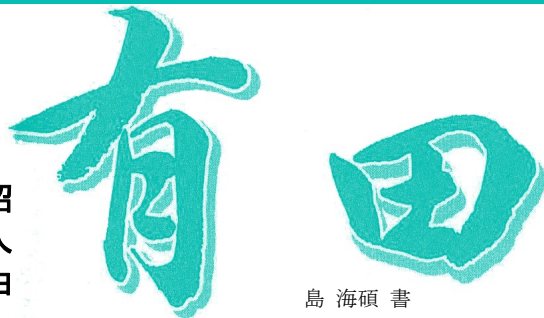


No. 3126

2025-2026年度

会 長 木本 隆昭
幹 事 児嶋 正人
広報小委員長 福田 一由



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度クラブ方針

「例会に出席しよう」

みんなに会おう」



次回のお知らせ

本日のプログラム

令和7年9月4日 第3127回

・会員卓話：成川 暢彦 君

・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

令和7年9月11日 第3128回

・ガバナー公式訪問「ガバナーアドレス」

国際ロータリー第2640地区 北野治義ガバナー

・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第3126回例会）

開催日 令和7年8月28日(木)

点 鐘 〔木本会長〕

ゲスト・ビジターの紹介

〔親睦活動小委員会 酒井委員長〕

ゲスト：間下 敦司様

(RI2640地区 地域社会奉仕委員会委員長)

森山 ジェニー様

(RI2640地区 RLIファシリテーター)

ビジター：川上 清一郎様(海南RC)、

名手 聡様(海南RC)

ニコニコ箱の報告 〔川口SAA〕

木本君：RI2640地区 地域社会奉仕委員会委員長 間下敦司様、RLIファシリテーター 森山ジェニー様、海南RC 川上清一郎様、名手聡様、ようこそ有田ロータリーへ。間下委員長、森山ファシリテーター、本日の卓話宜しくお願い致します。

児嶋君：ようこそ有田ロータリーへ。地域社会奉仕委員会委員長 間下敦司様、RLIファシリテーター 森山ジェニー様、本日の卓話よろしくお願い致します。また、海南RC 名手聡様、川上清一郎様よろしくお願い致します。

名手聡様(海南RC)：メイキャップよろしくお願い致します。

川上清一郎様(海南RC)：本日はメイキャップをさせて頂きありがとうございます。

石垣君：間下様、森山様、本日有田RCにお越しいただきありがとうございます。卓話よろしくお願い致します。

岩橋君：間下様、森山様、卓話よろしく御願ひします。

上野山(捷)君：間下様、森山様、卓話よろしくお願い致します。

宮井君：間下敦司様、森山ジェニー様、ようこそ有田RCへお出で下さいました。本日の卓話宜しくお願い致します。勉強させて頂きます。

松村君：森山ジェニー様、間下敦司様、お話楽しみにしています。

中元君：湯浅保健所での会議出席のため、早退させていただきます。申しわけございません。

上野山(栄)君：間下さん、森山さん、いつもRLIでお世話になります。本日Wで豪華メンバーの卓話楽しみにしています。

橋爪(誠)君：間下地域社会奉仕委員長様、森山RLIファシリテーター様、名手様、川上様、ようこそ有田RCへ。

井上君：間下様、森山様、卓話よろしくお願い致します。

菅原君：間下さん、ご無沙汰しております。森山さん、間下さん、ようこそ有田RCへ。卓話楽しみにしています。宜しくお願い致します。

福原君：間下様、森山様、卓話よろしくお願い致します。

嶋田君：間下さん、森山さん、卓話よろしくお願い致します。

福田君：間下敦司様、森山ジェニー様、本日の卓話よろしくお願い致します。

酒井君：間下様、森山様、本日有田RCにお越しいただきありがとうございます。卓話よろしくお願い致します。

川口君：本日はゲストとして間下様、森山様、ビジターとして海南RCより川上様、名手様、ようこそ有田RCへ。どうぞ宜しくお願い致します。楽しんで下さい。

出席報告

〔クラブ管理運営委員会 松村副委員長〕

本日の出席者19名/24名

(うち出席規定免除者6名/7名)

会長の時間 [木本会長]

今日は、ロータリーの第一標語である「超我の奉仕」についてお話しします。「超我の奉仕」という言葉は、ロータリークラブに入会してから知りました。難しい標語なのは、他のロータリー用語同様に英語の(Service Above Self)を日本語に訳しているからだと思います。「超我の奉仕」は、自己の利益よりも他者への奉仕を優先するという意味で、ロータリアンの行動規範を表しています。

具体的には、以下の3つの要素が含まれます。

1. 他者への思いやり:
 - ・相手の立場を理解し、共感する心を持つこと。
 - ・困っている人や助けが必要な人に対して、積極的に手を差し伸べること。
2. 自己犠牲:
 - ・自分の時間や労力、資源を惜しまず、他者のために貢献すること。
 - ・自分の利益を追求するだけでなく、社会全体の幸福を考えること。
3. 奉仕の実践
 - ・奉仕の精神を言葉だけでなく、具体的な行動に移すこと。
 - ・ロータリーの活動や、地域社会におけるボランティア活動などを通して、奉仕を実践すること。

以上の「超我の奉仕」は(自己犠牲)や(利他主義)とほぼ同じ意味だと思っていましたが、自己犠牲は含まれていますし、利他主義とはちょっと違うことがわかりました。

利他主義(Altruism)の定義: 他人の利益を最優先し、自己の利益を顧みない行動様式や思想。
超我の奉仕(Service Above Self)の定義: 利己的な考えを超え、他者のために尽くす奉仕行動。
と書かれています。自己を全く顧みない利他主義よりは利己的な考えを超えて奉仕活動する「超我の奉仕」のほうがロータリアンらしい表現だと思います。

また、奉仕活動の基本となる行動に、「無償の愛」があると思います。

無償の愛の具体的な行動例として、

- ・相手は無条件に受け入れる。
- ・相手の成功や幸福を第一に考える。
- ・犠牲をいとわない。

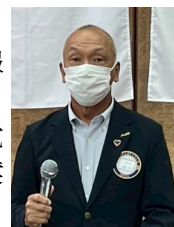
などがあげられています。この、自らを顧みず他人を思いやり社会を愛する心が、「超我の奉仕」の根幹にあるのだと思います。

ロータリークラブに入会して、「超我の奉仕」という言葉を学びました。そして、今日の会長の時間で話すためこれらのことを調べました。まだ、私自身「超我の奉仕」を実践できてはいませんが、こうやって言葉をつかい調べることで、ちょっとずつ馴染んでくれるかなと思っています。「4つのテスト」のソングがそうであるようにです。



せが届いています。 回覧

3. 公益財団法人 米山梅吉記念館より館報が届いています。 回覧
4. 和歌山県薬務課より令和7年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動についての案内が届いています。 回覧
5. 例会変更の案内 後方掲示



委員会報告

※情報・研修小委員会[井上委員長]

2025年8月24日開催されたクラブ情報規定委員長会議について

※奉仕プロジェクト委員会[井上委員長]

国際大会について

※クラブ管理運営委員会[橋爪委員長]

9月の担当表について

卓 話



国際ロータリー第2640地区
RLIファシリテーター
森山 ジェニー 様

「RLIを通じてロータリーの理解を深める」

1. 「RLI」とは？

RLIとはRotary Leadership Institute の略であり、「ロータリーリーダーシップ研究会」と訳されています。プログラムとしては、パートⅠ～Ⅲ(計3日間)に分けて、テーマごとに、ロータリーやより良いロータリアンとなるために、他の参加者と話し合いながら学びを深めていくというプログラムになります。

2. 受講するのはベテランロータリアン？

RLIはベテランロータリアンのためのプログラムではないかと思われるかもしれませんが、RLIでは、参加者がそれぞれの経験にもとづいて意見を自由に述べることができます。ロータリアンとしての経験年数は関係ありません。

私自身、ロータリーに入会して2か月でRLIに参加しました。素晴らしいファシリテーターの皆様や普段は接する機会の少ない他クラブのロータリアンとも交流する貴重な機会を得て、皆様から数多くの学びをいただきました。

その学びをもとに、自クラブで非常に充実したロータリーライフを楽しんでいます。

たくさんの出会いと学びがあるRLIの受講を、良ければご検討ください。

幹事報告 [児嶋幹事]

1. 秋の「第23回ロータリー全国囲碁大会」の案内が届いています。 回覧

2. 2025-2026年度ガバナー公式訪問についてのお知らせ



国際ロータリー第2640地区
地域社会奉仕委員会委員長
間下 敦司 様

「ロータリーにおける社会奉仕の本質を考える」

みなさま、こんにちは。本日はこのような機会をいただき、本当にありがとうございます。私は、国際ロータリー第2640地区で地域社会奉仕委員会の委員長を務めております、間下敦司と申します。普段は、和歌山のお隣、大阪で製造業を営んでおりまして、堺中ロータリークラブで活動し、昨年度は会長を経験させていただきました。

今日は、「社会奉仕とは何か」という基本的な部分から、そして今年度の取り組み方針まで、少しお話しさせていただければと思っております。

さて、皆さんにとって「社会奉仕」とは、どんなイメージでしょうか？

「地域の清掃活動」や「募金活動」、「福祉施設への支援」など、さまざまな具体的な活動が思い浮かぶかもしれません。有田ロータリークラブでは有田川クリーン作戦（地域の清掃活動）ということで、このような活動をされていて活気のあるクラブだな～と思っています。でも今日は、「ロータリーにおける社会奉仕の“本質”」について、一緒に考えてみたいと思いました。

ロータリーには「五大奉仕」がありますよね。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして青少年奉仕。この中でも「社会奉仕」は、**地域との信頼関係を築くための接点**になる、とても重要な役割を持っています。ロータリーの目的の中にも、こうあります。「奉仕の理念を奨励し、これを育むことがロータリーの目的である」

つまり、「奉仕」はロータリーの中心にある考え方なんです。決して「おまけ」や「課外活動」ではなくて、**私たちロータリアンが何のために集っているのか、何を大切にしているのか**ということを示しているのが、この「奉仕」なんです。

少し視点を変えてみましょう。社会奉仕というと、どうしても「活動をすること」がゴールになりがちです。でも本来は、「**地域がより良くなること**」が目的であり、活動はそのための手段です。つまり、社会奉仕とは「何かをすること」ではなく、「**地域の声に耳を傾けること**」から始まるものだと思うんです。

たとえば、その地域に本当に必要なことは何なのか。表に出てこない困りごと、声なき声があるかもしれません。そこに目を向け、ロータリークラブとして「自分たちにできることは何か」を考える。それが、本来の社会奉仕ではないでしょうか。

また、社会奉仕には「信頼づくり」という側面もあると思います。一度きりの支援で終わるのではなく、継続して地

域とつながっていく。「有田ロータリークラブさんがいてくれてよかった」そう思っただけの関係性を築いていく。それこそが、クラブの存在意義であり、ロータリアンとしての誇りにもつながると思うんです。

私たちロータリアンの行動の指針には「超我の奉仕 (Service Above Self)」という言葉があります。これは単なるスローガンではなくて、**地域社会のために自分たちの力をどう活かすか**を問い続ける姿勢だと思います。

実は、ロータリーでは1992年に社会奉仕に関する明確な声明が出されています。それによると社会奉仕とは

- ・地域のニーズを定期的に調査し、
 - ・会員それぞれの職業上の力や専門性を活かし、
 - ・規模の大小に関わらず地域に即した活動を行い、
 - ・他団体と連携や協力をしながら、最終的には地域に根づいた、持続可能なプロジェクトを目指す
- という内容が明示されています。

つまり、社会奉仕は「単に何かすること」ではなく、**地域とともに成長し、地域に任せていける仕組みを作ることが理想**なんです。

ここで、今年度・2025～2026年度の方針についてご紹介します。今年度の地区テーマは「**UNITE FOR GOOD ～よいことのために手を取りあおう～**」です。このテーマには、日頃の奉仕活動の意義を改めて確認し、**仲間と力を合わせて地域の中で“よいこと”を積み重ねていこう**というメッセージが込められています。

また、北野ガバナーの方針でも「**透明性のある地区事業を重視する**」とあります。これは、地区で何をやっているのかをオープンにし、クラブとの間で風通しのいい関係を築くことで、**会員増強にもつながる環境を整えよう**という考え方です。

そこで、地域社会奉仕委員会としては、次のようなことに取り組んでいきます。

- ・各クラブの社会奉仕事業をリサーチし、情報を共有する
- ・他クラブの取り組みが参考になるように情報の“見える化”を進める
- ・必ずしも「大きな活動」でなくてもいい。地域に密着し、**続けている活動**こそ紹介したい
- ・新しい事業を考えたいクラブには、**参考になる事例を紹介し、他団体との連携も支援する**

さらに、12月には各クラブの奉仕事業の調査と共有、来年4月にはクラブ社会奉仕委員長会議も予定しています。5月末の財団補助金申請の締切に間に合わせていただくためにもちょうど良いタイミングと思っています。地区協議会と同じ月になってしまい、お忙しい時期とは思いますが、是非みなさまのご参加をお待ちしております。

このように、私たちがめざしているのは、「一部のクラブだけが頑張る社会奉仕」ではなく、「**みんなで学び合い、支え合いながら、各クラブが自分たちにできる奉仕を誇れる状態**」です。

最後に、私は社会奉仕を通じて何よりも**クラブが元気になると**感じています。地域に出て、地域の声を聴いて、仲間と力を合わせて活動する。それがクラブにとっても、会員ひとりひとりにとっても**大きなやりがいと誇り**になります。そして何より、そうした活動を通じて「ロータリーっていいな」と思ってもらえるような、**信頼されるクラブ**になっていくのではないのでしょうか。

どうか今日のお話が、皆さんのクラブでの活動のヒントや再確認につながれば幸いです。そして一緒に「よいことのために手を取りあって」いけることを楽しみにしています。下記の活動方針を改めてご一読いただけましたら幸いです。

これで、私の本日の卓話を終了させていただきます。貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

【活動基本方針】

「UNITE FOR GOOD～よいことのために手を取りあおう～」というテーマは日頃の活動を強化することが出来る方法です。奉仕活動を通して「よいこと」を確認することで、活動に対する意義や喜びがクラブの活性化につながります。またガバナー基本方針「透明性のある地区事業を重視する」ことで更に情報の共有を強化して強い奉仕事業に育てましょう。情報を共有し見える化することでロータリアンとしての誇りを感じてもらえるようにしていきます。

そのために地域社会奉仕委員会は、各クラブにおける社会奉仕のあり方をリサーチし、RI行動計画に適合した奉仕事業の実施計画を考える機会を開きます。リサーチした情報を各クラブと共有し、奉仕事業の革新を促します。目新しい活動や規模の大きい活動だけでなく、身近で地域のニーズに合った活動をされているクラブがたくさんあります。それを是非この委員会にお寄せください。また、新たな活動を模索しているクラブには参考となるような活動を紹介できるように情報を収集し、それをヒントとして地域内他団体や地区の他委員会とパートナーシップを模索して、さらなる成長を目指せるよう支援します。

各クラブが誇りや喜びをもち、やりがいのある奉仕事業を行うことが出来るようサポートすることが私たちの委員会の使命です。

【活動計画】

地区地域社会奉仕委員会の責務と役割

- ・RIおよび地区からの地域社会奉仕に関する情報伝達
- ・各クラブ社会奉仕委員会の職務遂行への手助け
- ・各クラブ社会奉仕事業に関する情報の収集と共有
- ・他委員会との協調

各クラブに推奨する奉仕活動

【活動計画】

- ・地域社会の現状分析と7つの重点分野に則した奉仕を計画する
- ・奉仕活動の事例をMyRotary奉仕プロジェクトセンターにアップする
- ・優れた社会奉仕事業は「意義ある奉仕賞」受賞を目指す

2025-2026年度重点

- ・各クラブの事業調査と奉仕事業計画の共有(12月)
- ・クラブ社会奉仕委員長会議の開催(4月)

閉会・点鐘

〔木本会長〕

例会風景



9月11日（木）は
ガバナー公式訪問
です。

皆さま、
ご参加ください

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう